

一般社団法人 日本音楽療法学会 第21回近畿学術大会のご開催、誠にありがとうございます。

日本音楽療法学会の先生方におかれましては、常日頃から音楽療法を通し、多くの方々の健康維持と促進にご尽力を賜っておりますことに心から感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

今回もオンラインによる開催で、3月4日(土)から21日(月)までの約2週間に渡り、実践者及び研究者による研究発表・講習会を開催されると伺っております。

コロナ禍の中、交流の機会が減少し、これまで以上に人々が孤立してしまう状況が目立つようになっております。そんな中、心の状態に合った音楽を選んで聴くことで感情のバランスが安定し、生きる力が出た、もう一度前に向かって進んでいこうといった声も聞かれるなど、音楽には人の心の中にある、力を引き出してくれる多くの可能性があります。

今回の大会のテーマにもございます、「“ひと”と音楽 多種多様につながろう～出会い～つながり～深まり～」はまさに、今必要とされている大切なメッセージだと感じています。音楽を媒体としてできるつながりが、大きく広がっていくことを心から願っております。

私も、公明党音楽療法推進プロジェクトチームの座長として、党内における音楽療法の推進、音楽療法士の国家資格化に向けた取り組みを進めてまいりました。そして、一般社団法人 日本音楽療法学会の顧問として、貴学会の一員として、今後にも更に、音楽療法の普及促進に向けた努力を積み重ねてまいります。

最後になりますが、一般社団法人 日本音楽療法学会近畿支部の皆さまの益々のご健勝とご活躍、そして、今回の学術大会が実り多き素晴らしい大会となることを心よりご祈念申し上げ、お祝いのメッセージとさせていただきます。

一般社団法人 日本音楽療法学会 顧問
公明党 音楽療法推進プロジェクトチーム 座長

衆議院議員

浮島とも子